



SUITA ESAKA ROTARY CLUB

CLUB WEEKLY BULLETIN

創立年月日/1990.2.27
事務所/〒564-0063 吹田市江坂町1丁目23番101号(大同生命江坂ビル12F)
TEL06(6821)0222 FAX06(6821)0206 E-mail:esaka-rc@lake.ocn.ne.jp

例会場/新大阪江坂 東急イン・3F 〒564-0051 吹田市豊津町9番6号 TEL06(6338)0109 例会日/毎週火曜日 12:30~13:30
会長:八橋志夫 幹事:木元良三 会報委員長:飛田昭男

◇ 2009年1月20日 第891回例会(第890号) ◇

〰 本日の例会 〰

今週の歌 「奉仕の理想」

卓話 「私の職業」

新井性哲 会員
成松重人 会員

〰 次回例会のお知らせ(1月27日) 〰

卓話 「経営承継について」

西山俊明 会員

前回〔1月13日〕例会記録

来客

林白玫さん(米山奨学生)

会長の時間 八橋 会長

新年明けましておめでとうございます。
2009年度が良い年でありますことをご祈念申し上げます。

年末の家族会は大変ご苦労様でした。手作りの家族会で大変感動いたしました。思い出に残る家族会であったと思います。内田クラブ運営委員長はじめ寺井親睦委員長そして親睦委員の方々、SAAの方々、関係者の方々には大変なご苦労をおかけしましたこと感謝いたします。ありがとうございました。

日本経済は100年に一度の不況と騒がれています。賀詞会の会場に足を運んでも冒頭の挨拶から、不況のことばかりでした。皆様の会社はいかがでしょう？ 政府は定額給付金で揺れ動いています。生活支援だの景気刺激だの矜持(きょうじ)だのと報道しています。また2兆円あればと、いろんな使い道を

出席報告 山崎 委員長

【1月13日】
在籍会員 40名 (内出席規定適用免除者 9名)
出席会員 34名 (内出席規定適用免除者 5名)
ホームクラブ出席率 94.44%

12月2日のMUを含む出席率 100%

新聞紙上でまたテレビ等で報道されています。たしかに納めた税金から12,000円頂いても、一時しのぎでなにが残るのでしょうか？ 私自身も疑問を感じています。道に迷ったときは、元の場所に戻るのが登山の鉄則です。無理に進めば危ないのは、あまたの遭難が教えています。迷走から引き返して地図と磁石を見直す度量が、政府与党にありやなしや。

会長職も残すところ6ヶ月の任期になって参りました。私自身はこれから増強に力を入れた活動をしたいと考えています。大変な状況ではありますが、皆様方も一人でも多くの推薦を御願い致します。ご協力の程よろしく御願い致します。

幹事報告 木元 幹事

- ◎第2回GSE受け入れ会議の案内
日時：1月16日(金) 18:00~
場所：ホテル阪急エキスポパーク
西上ロータリー財団担当よろしくお願ひします。
- ◎第2回ローターアクト正副委員長会議の案内
日時：2月14日(土) 13:30~16:30
場所：OMMビル 201号室
金馬青少年担当よろしくお願ひします。
- ◎茨木西RCより、第2組IMの案内が参りました。
日時：2月28日(土) 14:10~16:40
場所：ホテル阪急エキスポパーク
- ◎裏千家千玄室大宗匠特別講演会の案内が産経新聞社より参っております。(テーブルにチラシ配付)
日時：3月2日(月) 13:00~14:30
場所：サンケイホールブリーゼ
- ◎下半期会費の請求書、BOXに配付しました。

◎田中(襄)会員退会に伴う奉仕活動副委員長後任は東委員に任命されました。担当は国際奉仕とします。

◎米山奨学会より、つぎの各位に米山功労者として感謝状が贈呈されました。北山陽一(第4回)、大井清(第4回)、田中茂晴(第4回)、田畑勉(第3回)。

ニコニコ箱

東 会員 本年もどうぞよろしく。
橋本 会員 本年も宜しく願いいたします。
速見 会員 新年お目出とうございます。
木元 会員 あけましておめでとう。本年も宜しく願いします。
北村 会員 入院見舞いただきありがとうございます。良くなりました。
小谷 会員 本年も宜敷くお願いします。
米谷 会員 新年お目でとうございます。今年もよろしく。
長島 会員 本年もよろしくお願いします。
成松 会員 クリスマス会ありがとうございます。本年もよろしく願い申し上げます。
西本 会員 明けましておめでとうございます。娘成人式迎えました。
西村 会員 迎春 心からおめでとうございます。
西山 会員 あけましておめでとうございます。本年もよろしく!
大井 会員 本年こそ会員増強がんばります。SOSです。
庄瀬 会員 本年もよろしく。
杉本 会員 おめでとうございます。
寺井 会員 新年早々ネコがまた一匹ふえました。今年もヨロシク…。
飛田 会員 本年もよろしく。
内田 会員 本年もどうぞよろしく願い申し上げます。
和田 会員 本年もよろしく。
八橋 会員 明けましておめでとうございます。増強頑張りましょう。
本日分 103,000円
累計 738,000円

1月お誕生日

2日 西山俊明 会員
3日 赤尾進 会員
10日 延秀恵 会員
22日 堀田稔 会員
25日 飛田昭男 会員
27日 杉本全司 会員
30日 新井性哲 会員

1月ご夫人お誕生日

5日 北山恵美 様
10日 東英子 様
19日 成松理香 様
21日 米谷みち子 様

1月結婚記念日

15日 庄瀬寛 会員
15日 西本健二 会員
21日 寺井正昭 会員

卓 話

「早春閑話」 米谷正夫 会員
人生は何かの問いに対して、松尾芭蕉は“古池やかわず飛び込む水の音”と答えたのである。
古池は昔から今日まで存在してきたもの、又これからも存在していくであろう長い時間の存在である。その長い時間の存在に蛙が飛び込んだ音“ポチャン”と言う音の時間が我々の人生なのだということである。
永遠の大自然の生命の中で、人生などはほんの一瞬间にしか過ぎないということの表現である。
又人生は一輪挿しの花瓶に挿された一つのつぼみのようなものであると言われる。限りある寿命で咲かせるか否か、咲かせるも、つぼみのままで散ってしまうも、自分自身が決めることであるということである。人生は無限の可能性を持った未開拓の広野である。努力と才能に応じて、そこから欲する収穫を得ることが出来るのである。
“人生は喜怒哀楽の四者を出でず”ともいわれる。人生のことは千変万化色々さまざまであるが、吾がこれに応ずる所以は喜怒哀楽の四者を出ないということである。つまり人生はいかに喜び、いかに怒り、いかに悲しみ、いかに楽しむかということであり、換言すれば“いかに生きるか”と言うことに正しい自律つまり原理原則をたてることである。それだけに喜怒哀楽に対する原理原則を見ればその人物のできばえがわかるのである。

“機を知れば心自ずから明”という言葉がある。

原理原則を押さえておきさえすれば、どんな複雑なことに出くわしても、それにふりまわされる事がなく心が常にのどかであるということである。

人間と動物との根本的な相違は“尊敬する気持ち”と“恥を知る心”を人間が持っていることである。

廉恥ということがやかましくいわれるが、廉恥の廉は無私ということであり、自分のことよりも常に社会全体のことを念頭に置いて行動することである。

“廉”がわかると利己的な反社会的な生き方を恥ずかしく思うようになるのでこれが恥を知るということである。廉恥心を失うのは人間としての一つの資格を喪失することである。

人間には与えられた運命というものがある。その運命がどういうものであるかを見るのは易ではない。

“易”とは本来変わるという意味である。だから変わらないことを“不易”という。運命は変わるものであり変えられるものである。己の運命を知り、それをどう変えていくかを考え実践していくのが易学の意義なのである。与えられた運命に甘んじその中に埋没して流され翻弄される、これが宿命である。だからその運命を変えようとする生き方がある。努力して与えられた運命を自分の望む方向に変えていく、これが立命である。“立命”とは別の言い方をすれば運を開く生き方と言えるのである。だから成功者はそのことを運というのである。運命は偶然より必然である。運命は性格の中にあるのである。司馬遼太郎氏は何事かを成し遂げるのはその人の才能でなく性格であると言っている。

柊（ヒイラギ）は、キンモクセイに比べて地味だが香りの良さは負けない。特徴は葉っぱの縁が鋭いトゲになっている。うっかりそのトゲにふれると柊（ヒヒラグ）つまりヒリヒリと痛むというのでこの名前がついたといわれる。日本では古くから魔除け厄除けに使われてきた。農家の門口近くに植えたのは防犯の意味である。又節分にはヒイラギの枝にイワシの頭をつけて戸口に飾ったものである。

しかしトゲが鋭いのは木が若いときだけで老木になると葉の縁がすっかり滑らかになるのである。年を経て丸くなるのは人の世界でも多いのである。

人間の老には3つの意味がある。

- ①文字通り年をとること
- ②経験を積んで練れてくること、老練という意味
- ③考えが固まること、年をとればとるほど思索も深まり大成して完成するという意味

良いブドウ酒は年を経ると始めて澄んで味がある。人は熟成しなければならないのではない。

経営者の唯一最大の仕事は決断である。経営者の優劣は決断が優れているか否かである。そしてその決断には絶対的确实というものがないのである。そしてその決断力の正誤が明らかになったときは手遅れなのである。

人は一面に片寄った意見に支配されると、大いなる道筋、天下の公理が分からなくなるのである。迷った決断は必ず的を得た結果をもたらさない。決断は文字通り決として断を下すということではなくてはならない。これは決断の原則である。

奇策を弄せず平凡に徹することである。平凡に徹することは奇策を弄するより難しいことである。当たり前前を当たり前前にやる、そしてその積み重ねがホンモノになったときそれが非凡に通じるのである。

平凡に徹するといっても次元の違うしかも断片的なデータから物事の本質を読み取る能力、想像が必要であってこのためには直観力、洞察力、先見力を磨かなければならないのである。わかっているようでわからないのが自分のことである。

日向方齊氏は社長の条件として人格、識見、統率力、実行力さらに高い視野に立った先見性と調和性を求めているのである。しかも成長性の高い分野であればあるほど企業経営者の先見性と適応力の早さが収益力を拡大すると訓えているのである。

先見力は今日を知る所に生まれるのです。

千歳を觀んと欲すれば、即ち今日を審らかにせよ…荀子

行く先が見えなければ正しい決断はできるものではない。先のことを知ろうと思うならば今日のことを明確に知るがよい。

大西正文氏は過去に学び、現在を考えて未来を思うという活動を積極的に展開したいと言っている。

